

平成25年度アルミニウム二次合金地金・同二次地金並びに
鋳物・ダイカスト用アルミニウム一次合金地金需要見通し

平成25年3月22日
(一社)日本アルミニウム合金協会

平成24年度の日本経済は、東日本大震災からの復興需要や政策効果の発現等により、夏場にかけて回復に向けた動きが見られたものの、秋口以降、世界経済やエコカー補助金終了による個人消費の減速等を背景として輸出や生産が減少するなど、景気は弱含みに推移した。

このような経済環境の中で、当アルミニウム合金業界においては、主要需要先である自動車業界の完成車生産が年度下期よりエコカー補助金の終了や尖閣問題に端を発した中国での需要の減少もあり停滞したものの、四輪海外生産用部品輸出が大幅な伸びを示したことにより、主力の鋳物・ダイカスト向け需要が前年度比プラスとなったことから、平成24年度アルミニウム二次合金地金・同二次地金需要は1,542,700トン(対前年度比102.9%)が見込まれる。

このような状況の中で、平成25年度アルミニウム二次合金地金・同二次地金需要見通しを次のとおり策定した。

- (1) 鋳物・ダイカスト向け二次合金地金需要については、国内自動車需要・国内完成車生産の冷え込みが予想されるものの、海外自動車生産の好調により四輪海外生産用部品輸出が引き続き堅調に推移することが期待されるため、プラス成長が見込まれる。
- (2) 圧延向け二次合金地金・二次地金需要については、飲料用アルミニウム缶需要が前年度並みと予想されるため、横バイが見込まれる。
- (3) 鉄鋼・その他向け二次合金地金・二次地金需要については、国内粗鋼生産が前年度並みと予想されるため、横バイが見込まれる。

以上の状況から平成25年度のアルミニウム二次合金地金・同二次地金需要見通しを、2年連続のプラス成長となる1,564,500トン(対前年度比101.4%)と策定した。

また、平成25年度鋳物・ダイカスト用アルミニウム一次合金地金需要見通しは、241,100トン(対前年度比101.4%)が予想される。

平成 25 年 度

アルミニウム二次合金地金・同二次地金需要見通し

平成 25 年 3 月 22 日

(一社)日本アルミニウム合金協会

(単位：トン)

項 目	平成23年度	平成24年度実績		平成25年度	
		見込み	前年度比%	見通し	前年度比%
鑄 物	282,369	302,400	107.1	307,200	101.6
ダイカスト	907,242	935,000	103.1	952,000	101.8
圧 延	191,573	189,800	99.1	189,800	100
鉄鋼・その他	118,200	115,500	97.7	115,500	100
計	1,499,384	1,542,700	102.9	1,564,500	101.4

注1) 輸入地金を含む。

注2) 平成14年1月より、経済産業省統計の統廃合があり、鉄鋼・その他は当協会推定値となっている。

平成 25 年 度

鑄物・ダイカスト用アルミニウム一次合金地金需要見通し

(単位：トン)

項 目	平成23年度	平成24年度実績		平成25年度	
		見込み	前年度比%	見通し	前年度比%
鑄 物	159,998	168,100	105.1	170,500	101.4
ダイカスト	67,867	69,600	102.6	70,600	101.4
計	227,865	237,700	104.3	241,100	101.4

注1) 輸入地金を含む。